

商標

Autel®、MaxiSys®、MaxiDAS®、MaxiScan®、MaxiTPMS®、MaxiRecorder®および MaxiCheck®は、Autel Intelligent Technology Corp.、Ltd.の商標であり、中国、米国およびその他の国で登録されています。他のすべてのマークは、それぞれの所有者の商標または登録商標です。

著作権情報

AUTELの事前の書面による許可なしに、このマニュアルのいかなる部分も、電子的、機械的、写真複写、記録、またはその他の方法または手段によって、複製、検索システムに保存、または送信することはできません。

保証の免責および責任の制限

このマニュアルのすべての情報、仕様、図は、印刷時に入手可能な最新情報に基づいています。

AUTELは、予告なしにいつでも変更を行う権利を留保します。このマニュアルの情報の正確性については慎重に確認しておりますが、製品の仕様、機能、および図の完全性および正確性については保証されません。

AUTELは、直接的、特別、偶発的、間接的な損害、または経済的損害（利益の損失を含む）に対する責任を負いません。

❗ 重要

このユニットを操作または保守する前に、このマニュアルを注意深く読み、安全上の警告と注意事項に特に注意してください。

サービスとサポートの場合



pro.autel.com

www.autel.com



1-855-288-3587/1-855-AUTELUS (North America)

0086-755-86147779 (China)



Support@autel.com

その他のエリア技術サポートについては、お近くの正規販売代理店へお問い合わせください。

安全情報

あなた自身の安全と他者の安全のため、また使用される装置と車両の損傷を防ぐために、このマニュアル全体で示されている安全上の注意事項を、操作または接触するすべての人が読んで理解することが重要です。

車両を整備するためのさまざまな手順、技術、ツール、および部品が必要であり、作業を行う人のスキルも必要です。この装置でテストできる製品には膨大な数のテストアプリケーションとバリエーションがあるため、あらゆる状況に対応するためのアドバイスや安全メッセージを予測または提供することはできません。テスト対象のシステムに精通することは、自動車技術者の責任です。適切な保守方法とテスト手順を遵守することが重要です。あなたの安全、作業エリアの他の人の安全、使用中のデバイス、またはテスト中の車両を危険にさらさない適切で許容可能な方法でテストを実行することが不可欠です。

デバイスを使用する前に、テスト対象の車両または機器のメーカーが提供する安全メッセージと適用可能なテスト手順を常に参照して、それに従ってください。このマニュアルに記載されている方法でのみデバイスを使用してください。このマニュアルのすべての安全メッセージと指示を読み、理解し、従ってください。

安全メッセージ

人体への傷害および機器の損傷を防ぐために、安全メッセージが提供されています。すべての安全メッセージは、危険レベルを示す注意喚起で紹介されています。

危険

回避しないと、オペレーターまたは傍観者が死亡または重傷を負う差し迫った危険な状況を示します。

警告

回避しないと、オペレーターまたは傍観者が死亡または重傷を負う可能性がある潜在的に危険な状況を示します。

安全指示

本書の安全メッセージは、AUTEL が認識している状況をカバーしています。AUTEL は、可能性のあるすべての危険を評価または推奨することができます。

せん。発生した状態やサービス手順が個人の安全を危険にさらさないことを確認する必要があります。

危険

エンジンが稼働している間は、サービスエリアの通気を良好に保つか、エンジン排気システムに建物排気ガス除去システムを設置します。エンジンは無臭の有毒ガスである一酸化炭素を生成し、反応時間が遅くなり、重傷や人命の損失につながる可能性があります。

安全上のご注意

- 安全メガネと防護服を着用する。
- アノアエンジンの近くで喫煙をしったり、または火花許可したりしないでください。
- バッテリーの酸が皮膚、衣類、または目に接触した場合に備えて、近くにたくさんの水と石鹼を用意してください。
- 電池酸が皮膚や衣類に接触する場合は、すぐに石鹼と水で洗ってください。酸が目に入った場合は、少なくとも 10 分間冷たい水を流してすぐに目を洗い、医師の診察を受けてください。
- 金属製の工具を使用する場合は、火花や短絡を防ぐために注意してください。
- バッテリーの修理を開始する前に、ジュエリーや時計をすべて取り外してください。
- 髪の毛、手、衣服、テスターのリード線やコードを、動くブレードやベルトに近づけないでください。

目次

安全情報	ii
安全メッセージ	ii
安全指示	ii
1 このマニュアルの使用	1
規則	1
2 製品説明	3
2.1 MaxiBAS BT608 テスター	4
2.1.1 機能の説明	4
2.1.2 電源	5
2.1.3 技術仕様	6
2.2 MaxiVCI V200 — 車両通信インターフェース (VCI)	7
2.2.1 機能の説明	7
2.2.2 電源	8
2.2.3 技術仕様	8
2.3 その他のアクセサリ	9
3 はじめ	10
3.1 パワーアップ	10
3.1.1 ページ インジケータとシステム ステータス バー	11
3.1.2 アプリケーションボタン	11
3.1.3 ドロップダウン メニュー	12
3.2 シャットダウン	14
3.3 テストの準備	14
3.3.1 バッテリーの検査	14
3.3.2 バッテリーの接続	14
4 車載テスト	16
4.1 テストを開始	16
4.1.1 VCI 接続	17
4.2 バッテリーテスト	20
4.3 スターターテスト	22

4.4	ジェネレーターテスト	23
5	車外テスト	25
5.1	テスト手順	25
5.2	テスト結果	26
6	バッテリー交換	27
7	バッテリーリセット	29
7.1	自動登録（バッテリー交換後）	29
7.1.1	BMS リセット	29
7.1.2	電化製品のリセット	30
7.2	特殊機能	31
7.3	バッテリーの使用履歴（BMW 車両のみ）	32
8	診断	33
8.1	オートスキャン	33
8.2	コントロールユニット	35
8.2.1	ECU 情報	36
8.2.2	コードの読取	37
8.2.3	故障コードの消去	38
9	マルチメーター	40
9.1	安全情報	40
9.2	はじめ	41
9.3	画面のレイアウトと操作	42
9.3.1	マルチメーターアイコン	43
9.3.2	デジタルディスプレイ	43
9.3.3	メインビューセクション	44
9.3.4	測定タイプの選択	44
10	アップデート	46
11	設定	48
12	データマネージャー	49
12.1	テスト履歴	49
12.2	ワークショップ情報	50

12.3	画像	50
12.4	PDF	50
12.5	アプリのアンインストール	50
12.6	データロギング	50
13	リモートデスクトップ	52
14	ツール登録	54
14.1	テスターによる登録	54
14.2	PCまたはモバイルのインターネットブラウザで登録	54
15	メンテナンスとサービス	55
15.1	メンテナンス方法	55
15.2	トラブルシューティングチェックリスト	56
15.3	バッテリーの使用について	56
15.4	サービス手順	57
15.4.1	テクニカルサポート	57
15.4.2	リペアサービス	59
16	コンプライアンス情報	60
17	保証	62
12	か月限定保証	62

1 このマニュアルの使用

このマニュアルには、デバイスの使用方法が記載されています。

このマニュアルに示されている図には、システムに含まれていないモジュールやオプション機器が含まれている場合があります。他のモジュールやオプションのツールやアクセサリーの入手方法については、営業担当者へお問い合わせください。

規則

次の規則が使用されます。

太字

太字のテキストは、ボタンやメニューオプションなどの選択可能な項目を強調するために使用されます。

例：

- **OK** をタップします

注意事項と重要メッセージ

注意事項

ご注意は、追加の説明、ヒント、コメントなどの役立つ情報を提供します。

例：

注意

新しいバッテリーは、約 3~5 回の充電および放電サイクル後にフル容量に達します。

重要

重要は、回避しないとタブレットまたは車両に損傷を与える可能性がある状況を示します。

例:

❗ 重要

ケーブルは、高温、油、鋭いエッジ、可動部品から遠ざける必要があります。ケーブルが破損している場合は、すぐに交換してください。

ハイパーリンク

他の関連記事、手順、および図へのハイパーリンクまたはリンクは、電子文書で入手できます。青色の斜体テキストは選択可能なハイパーリンクを示し、青色の下線付きテキストはウェブサイトリンクまたは電子メールアドレスリンクを示します。

図

このマニュアルで使用されているイラストはサンプルであり、実際のテスト画面はテスト対象の車両ごとに異なる場合があります。メニューのタイトルと画面の指示に従って、正しいオプションを選択してください。

2 製品説明

MaxiBAS BT608

タッチスクリーンバッテリー&電気システムアナライザ

MaxiBAS BT608 は、最新のバッテリーと電気システムアナライザです。タッチスクリーン操作にて、高度なバッテリー分析であるアダプティブコンダクタンス方法によってバッテリー容量と CCA 値を正確に検出し、バッテリーの劣化状態を判断しバッテリーヘルスステータスを表示します。バッテリーおよびスターターとオルタネーターの診断を実行、VIN スキャン機能により、車両情報をすばやく識別しバッテリー仕様を特定、車両システムのコードの読取/クリアを実行できます。使いやすい Android ベースのタッチスクリーンツールは、Wi-Fi でソフトウェアの更新、印刷ができ、さらに内蔵のサーマルプリンターでテストレポートをすぐに印刷できます。

MaxiBASBT608 には 2 つの主要コンポーネントがあります：

- MaxiBAS BT608 テスター — タッチスクリーンバッテリー&電気システムテスター
- MaxiVCI V200 — 車両通信インターフェース

2.1 MaxiBAS BT608 テスター

2.1.1 機能の説明

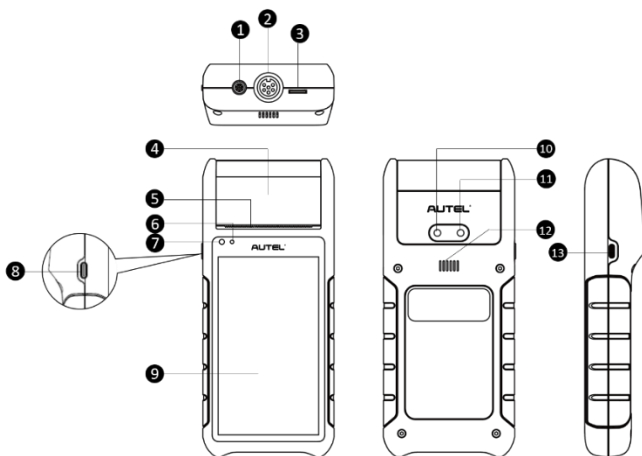


図 2-1 MaxiBAS BT608 正面/裏面/サイド

1. マルチメーターケーブルポート
2. バッテリーランプケーブルポート
3. マイクロ SD スロット
4. サーマルプリンタ
5. 用紙出口
6. 電源 LED — 詳細については、表 2-1 電源 LED の説明を参照してください
7. 周囲光センサー — 周囲の明るさを検出します
8. ロック/電源ボタン—押し続けて BT608 のオンとオフ/再起動を行うか、電源ボタンをタップして画面をロックします
9. 5.5 インチタッチスクリーン
10. カメラ
11. カメラフラッシュ

12. スピーカー

13. USB ポート

表 2-1 LED 電源の説明

LED	色	説明
電力	緑	<ul style="list-style-type: none">● バッテリーが完全に充電されると、緑色に点灯します。● 充電中は緑色に点滅し、テスターの電源が自動的にオンになります。
	赤	<ul style="list-style-type: none">● テスターの電源がオンで、バッテリーレベルが 15%未満の場合、赤く点灯します。● 不正な操作が行われたときに赤色に点灯

2.1.2 電源

BT608 テスターは、次のソースから電力を受け取ることができます：

- 内部バッテリーパック
- AC/DC 電源

❗ 重要

温度が 0° C (32° F) 以下または 45° C (113° F) を超える場合は、バッテリーを充電しないでください。

内部バッテリーパック

BT608 は、内蔵の充電式バッテリーを介して電力を供給されます。完全に充電されている場合、約 6 時間の連続動作に十分な電力を供給できます。

AC/DC 電源装置 — 電源アダプタを使用

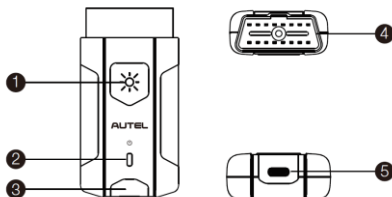
テスターは AC/DC 電源アダプタを使用して、コンセントを介して給電できます。AC/DC 電源モジュールは、内蔵バッテリーパックも充電します。

2.1.3 技術仕様

アイテム	説明
OS	Android 9.0
画面表示	5.5" LCD タッチスクリーン & 解像度 720x1280
ストレージ	32 GB
接続	<ul style="list-style-type: none">• Wi-Fi (802.11 a/b/g/n/ac)• USB 2.0, Type C• BT 5.0 + EDR
カメラ	8 Megapixel
入力電圧	5 V DC
動作電流	< 450 mA at 7.7 V DC
内蔵バッテリー	7.7 V, 3000 mAh
CCA 範囲	100 to 3000 A
電圧範囲	1.5 V to 36 V
動作温度	0° C to 50° C (32° F to 122° F)
保管温度	-10° C to 60° C (14° F to 140° F)
寸法(L x W x H)	204mm (8.03") x 90mm (3.54") x 32mm (1.25")
重量	510 g (1.12 lb.)

2.2 MaxiVCI V200 – 車両通信インターフェース (VCI)

2.2.1 機能の説明



1. 懐中電灯の電源ボタン
2. 電源 LED
3. 車両/接続 LED
4. 車両データコネクタ (16 ピン)
5. USB ポート

VCI LED の説明

LED	色	説明
電源 LED	黄色	VCI の電源が入っており、セルフチェックを実行
	緑	VCI を使用する準備ができました
	赤に点滅	ファームウェアが更新されています
車両 / 接続 LED	緑	<ul style="list-style-type: none"> ● 緑色に点灯: VCI は USB ケーブルと接続されています。 ● 緑色に点滅: VCI は USB ケーブルを介して通信しています。
	青	<ul style="list-style-type: none"> ● 青色に点灯: VCI は Bluetooth を介して接続されています。 ● 青色に点滅: VCI は Bluetooth 経由で通信します。

2.2.2 電源

VCI デバイスは、次のソースから電力を受け取ることができます：

- 車両電源
- AC/DC 電源

車両電源

VCI デバイスは、車両データ接続ポートから電力が供給される 12/24 ボルトの車両電源で動作します。デバイスは、OBD II / EOBD 準拠のデータリンクコネクタ（DLC）に接続される際に電源はオンになります。







AC/DC 電源

VCI デバイスは、AC / DC 電源アダプタを使用してコンセントから電力を供給できます。VCI デバイスの懐中電灯は、この方法で電力を供給できます。

2.2.3 技術仕様

アイテム	説明
通信	<ul style="list-style-type: none">● BLE + EDR● USB 2.0
ワイヤレス周波数	2.4 GHz
入力電圧範囲	6 to 36 V DC
供給電流	150 mA @ 12 V DC
動作温度	-10° C to 50° C (14 ° F to 122 ° F)
保管温度	-40° C to 80° C (-40 ° F to 176 ° F)
寸法 (L x W x H)	89.89 mm (3.53") x 46.78 mm (1.84") x 21 mm (0.82")
重量	70.7 g (0.156 lb.)
内臓バッテリー	3.7 V リチウム電池
ライト	白色 LED

2.3 その他のアクセサリ

	バッテリークランプケーブル テスターをバッテリーに接続します。
	バッテリー側ポストターミナルタイプ S (2 個) バッテリーポストとクランプを接続します。
	バッテリー側ポストターミナルタイプ T (2 個) バッテリーポストとクランプを接続します。
	電源アダプタ USB ケーブルとつなげて、本体を電源用の外部 DC 電源ポートに接続します。
	USB ケーブル 電源アダプタとつなげて、本体を電源用の外部 DC 電源ポートに接続します。
	ペーパーロール (2 個) サーマルプリンターを使用、レポートを印刷します。

3 はじめ

テスター本体が十分に充電されていることを確認します。

注意

このマニュアルに記載されている画像やイラストは、お使いのツールとは異なる場合があります。

3.1 パワーアップ

テスターの左側にある[ロック/電源]ボタンを押し続けてテスターの電源を入れたら、システムが起動し、メインメニューが表示されます。






図 3-1 BT608 テスターのメインメニューサンプル

1. ステータスバー
2. アプリケーションボタン
3. ページインジケーター

3.1.1 ページインジケータとシステムステータスバー

ステータスバーとページインジケータのアイコン説明を次の通り表示します(表 3-1)。




表 3-1 システムステータスアイコンとページインジケータ

アイコン	名称	説明
	ページインジケータ	ページリスト内の現在のページ位置を示します。ユーザー様は画面を左または右にスワイプして、前または次のページを表示します。
	バッテリーが接続	右上にある 緑色のチェックマーク は、ツールがバッテリーに接続されていることを示し、 赤い X アイコン は接続されていないことを示します。
	VCI 接続	右上の 緑のチェックマーク は VCI デバイスが接続されていることを示し、 赤い X は接続がないことを示します。

3.1.2 アプリケーションボタン

アプリケーションボタンの説明を以下に示します(表 3-2)。

表 3-2 アプリケーション

ボタン	名称	説明
	車載テスト	車両に搭載されているバッテリーをテストします。16 ページの「車載テスト」を参照してください。
	車外テスト	車両に接続されていないバッテリーをテストします。25 ページの「車外テスト」を参照してください。
	バッテリー交換	バッテリー交換の操作ガイド。27 ページの「バッテリー交換」を参照してください。

ボタン	名称	説明
	バッテリーリセット	バッテリーリセット機能にアクセスします。29 ページの「バッテリーリセット」を参照してください。
	診断	故障コードを読み取ったり、消去したりします。33 ページの「診断」を参照してください。
	マルチメーター	マルチメーター機能にアクセスします。(マルチメーターは別売りです。) 40 ページの「マルチメーター」を参照してください。
	アップデート	システムソフトウェアの更新メニューにアクセスします。46 ページの「アップデート」を参照してください。
	設定	VCI マネージャー、BAS マネージャー、システム設定メニューなどにアクセスします。48 ページの「設定」を参照してください。
	データマネージャー	保存された修理工場、顧客、および詳細な車両診断とテスト記録を含む車両データにアクセスします。49 ページの「データマネージャー」を参照してください。
	リモートデスクトップ	任意のコンピューターから、または別のモバイルデバイスからテスターをリモート制御できます。デバイスからコンピューターに、またはその逆にファイルを転送します。52 ページの「リモートデスクトップ」を参照してください。

3.1.3 ドロップダウンメニュー

画面の上から下にスワイプして、ドロップダウンメニューにアクセスします。ユーザーはタップするだけで一般的に使用される設定や機能をすばやく変更することができます。

操作ボタンの説明を以下に示します (表 3-3)。

表 3-3 ドロップダウンメニュー ボタン

ボタン	名称	説明
	設定	設定機能へのクイックアクセス
	Bluetooth	Bluetooth 接続を有効にする
	Wi-Fi	Wi-Fi 接続を有効にする
	懐中電灯	懐中電灯のオン/オフを切り替える
	スクリーンショット	現在画面のスクリーンショットを撮る
	自動明るさ	画面の明るさを自動的に調整する
	ロガー	ログ収集機能にアクセスする
	再起動	アプリケーションを再起動する
 <p>画面の明るさのスライダー—画面の明るさを手動で調整する</p>		
 <p>ボリュームスライダー—スライドして音量を手動で調整する</p>		

3.2 シャットダウン

テスターをシャットダウンする前に、すべての車両通信を終了する必要があります。テスターが車両と通信しているときにシャットダウンを試行されると、警告メッセージが表示されます。テスターが車両と通信しているときに強制的にシャットダウンすると、一部の車両 ECU に問題が発生する可能性があります。テスターをシャットダウンする前に、診断アプリケーションを終了してください。

➤ テスターの電源を切るには：

1. ロック/電源ボタンを長押しします。
2. 電源オフオプションをタップします。
3. [OK] をタップします。

システムの再起動

システムがクラッシュした場合は、ロック/電源ボタンを長押しし、再起動をタップしてシステムを再起動します。

3.3 テストの準備

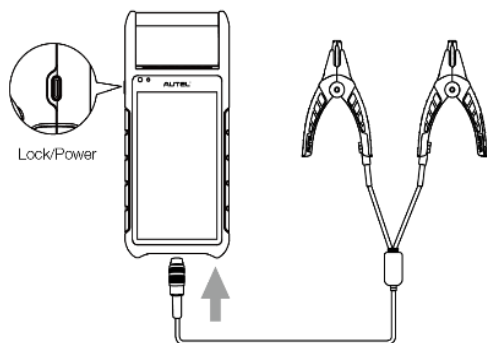
3.3.1 バッテリーの検査

テストを開始する前に、バッテリーを検査して次のことを確認してください：

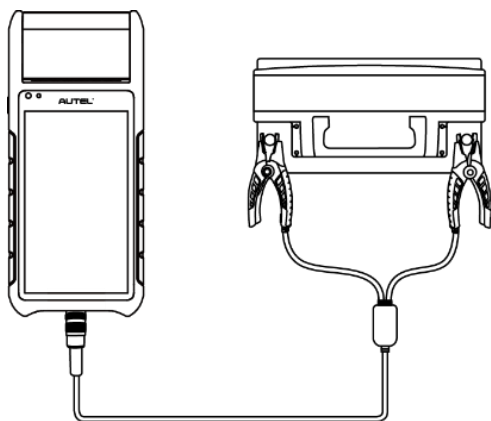
- ひび割れ、座屈、または漏れ（これらの欠陥のいずれかが見られる場合は、バッテリーを交換してください。）
- ケーブルおよび接続の腐食、緩み、または損傷（必要に応じて修理または交換してください）。
- バッテリー端子の腐食、およびケース上部の汚れまたは酸（ワイヤーブラシと水と重曹の混合物を使用してケースと端子を清掃します）。

3.3.2 バッテリーの接続

1. クランプケーブルをツールのクランプケーブルポートに接続し、クランプケーブルのコネクタを締めます。ロック/電源ボタンを押したままにして、BT608をオンにします。作業機能を選択し、画面の指示に従います。



2. 赤いクランプをバッテリーのプラス (+) 端子に接続し、黒いクランプをバッテリーのマイナス (-) 端子に接続します。



4 車載テスト

車載テストは、車両に搭載されているバッテリーのテストに使用されます。車載テストには、バッテリーテスト、スターターテスト、ジェネレーターテストが含まれます。これらのテストは、バッテリー、スターター、およびジェネレーターのヘルスステータスを判別に役立ちます。

4.1 テストを開始

ホーム画面で【車載テスト】を選択します。図 4-1 は、OBDII コネクタの位置を示しています。

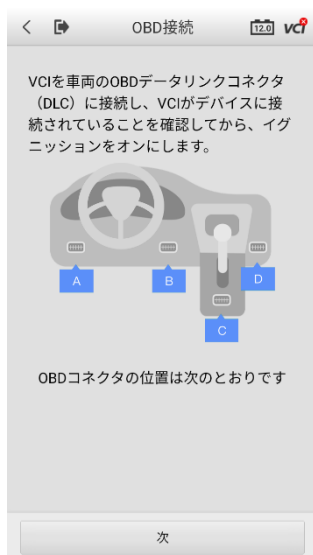






図 4-1 車載テストホーム画面のサンプル

表 4-1 上部ツールバーボタン

名称	ボタン	説明
戻る		前の画面に戻ります
ホーム		ホーム画面に戻る
バッテリー接続		バッテリーの接続状態を表示します。アイコンの数字は、テストされたバッテリーのリアルタイム電圧を示しています。バッテリーテストでは、バッテリーに問題がなければボタンが緑色に変わります。問題があれば、赤になります。
VCI 接続		タップして VCI マネージャーに入ります。アイコンには、VCI の接続ステータスも表示されます。

4.1.1 VCI 接続


1. VCI を車両の OBD データリンクコネクタ (DLC) に接続します。
2.  アイコンをタップすると VCI マネージャーメニューに入ります。デバイスは自動的に Bluetooth を有効にし、利用可能なペアリングユニットの検索を開始します。
3. デバイス名前は、シリアル番号がサフィックスとして付いた「Maxi」としてこのメニューに表示されます。
4. VCI ラベルのシリアル番号を確認し、ペアリングするデバイスを選択します。
5. ペアリングが成功すると、接続ステータスがペアリング済みと表示され、車両/接続 LED が青色に点灯します。



図 4-2 VCI マネージャー画面のサンプル

6. く アイコンをタップして、前の画面に戻り、車両情報画面に移動します。画面の右上にある VCI ボタンには、緑色のチェックマークが表示され、テスターが VCI に接続されていることを示します。

4.1.2 車両情報の確認

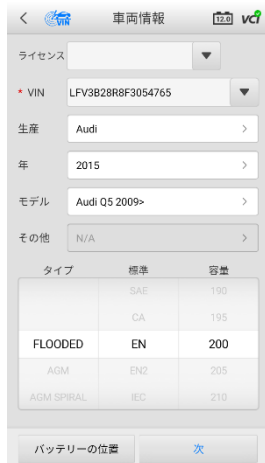






図 4-3 車両情報のサンプル画面

ボタン

名称	ボタン	説明
オート VIN		VCI が車両の OBD データリンクコネクタ (DLC) を介してデバイスに接続されたら、イグニッションをオンにして、車両の VIN コードは自動的に認識されます。
ライセンススキャン		タップしてナンバープレートをスキャンします
VIN スキャン		タップして車両識別番号をスキャンします。
バッテリー位置		タップしてバッテリーの位置を確認します。

注意

ライセンススキャン機能は、限られた国と地域でサポートされています。ライセンスナンバーが利用できない場合は、手動で入力してください。

7. 車両通信が確立されると、車両情報が自動的に識別されます。画面の下に【バッテリー情報】のタブが表示されます。

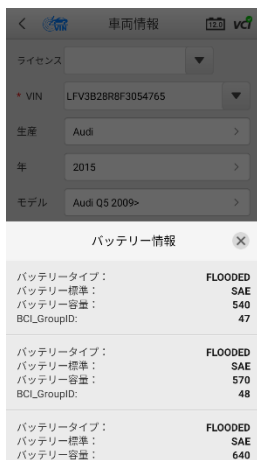



図 4-4 バッテリー情報のサンプル画面

8.  のアイコンをタップすると、車両情報画面に戻ります。画面の左下にある【**バッテリーの位置**】をタップして、バッテリーの位置を確認します。
9. バッテリーを見つけ、バッテリー情報を確認し、正しいバッテリーパラメーターを選択します。
10. 車両情報画面で情報を確認し、対応するフィールドをタップして、必要に応じて正しいパラメータを手動で入力します。【**次へ**】をタップして続行します。

4.2 バッテリーテスト

11. クランプ接続図が表示されます。画面の指示に従ってクランプケーブルを正しく接続し、【**次へ**】をタップして続行します。



図 4-5 バッテリースクリーンのサンプル

12. 画面の指示に従い、リストされたタスクが完了したらチェックボックスをオンにして、【**テスト開始**】をタップします。
13. テストが完了するまで待ちます。テスト結果はテスターに表示されます。

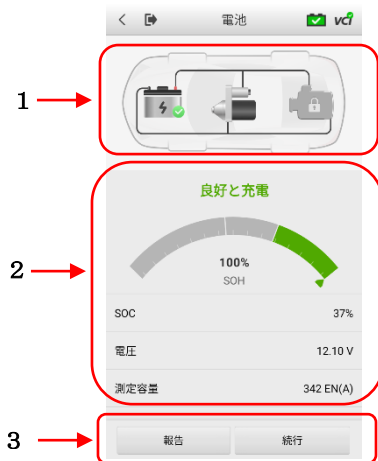


図 4-6 バッテリーテスト結果サンプル画面

1. プロセスボタン
2. テストレポート
3. 機能ボタン

プロセスボタン

プロセスボタンのいずれかをタップして、対応するテスト（バッテリーテスト、スターターテスト、またはジェネレーターテスト）に進みます。ボタンの右下にステータスアイコンが表示され、テスト結果が表示されます。

バッテリーのテスト結果

バッテリーのテスト結果は、色分けされた結果の概要、テストデータのリスト、および修復のヒントが含まれます。

表 4-2 テスト結果

結果	修理のヒント
良いバッテリー	バッテリーは良いです。
良い&リチャージ	バッテリーは良好ですが、充電が不十分です。バッテリーを充電してください。
充電と再テスト	バッテリーの状態を判断するには、充電が必要です。
悪いセル	バッテリーを交換してください。
バッテリーを交換	バッテリーを交換してください。

機能ボタン

画面下部の機能ボタンは、操作により異なります。機能には、レポートとバッテリーの交換が含まれます。次の表に、機能ボタンの操作の簡単な説明を示します。

名称	説明
レポート	タップして、テストデータと結果をレポート形式で表示します。画面下の【印刷】をタップして、テストレポートを内蔵のサーマルプリンターに印刷します。【Eメール】をタップして、テストレポートをメール送信します。
バッテリー交換	タップしてバッテリーの交換を続行します。27ページの【バッテリーの交換】を参照してください。
継続	タップして次のテストを実行します。

注意

スターターテストとジェネレーターテストに進む前に、必ずバッテリーのテストを完了してください。

4.3 スターターテスト

14. 画面の指示に従ってテストを完了します。エンジンを始動し、アイドル状態にします。テスト結果は次のように表示されます：



図 4-7 スターターテスト結果サンプル画面

表 4-3 スターターテスト結果

結果	説明
クランキングノーマル	スターターは良いです
電流が低すぎる	瞬間放電容量が少ない
電圧が低すぎる	バッテリー残量が少ない
始まっていない	スターターが始動時に検出されない

4.4 ジェネレーターテスト

15. 画面の指示に従ってテストを完了します。テスト結果は次のように表示されます：



図 4-8 ジェネレーターテスト結果サンプル画面

表 4-4 ジェネレーターのテスト結果

結果	説明
充電正常	ジェネレーターは良いです。
出力が低すぎ	<ul style="list-style-type: none"> ● スターターとジェネレーターを結ぶベルトが緩んでいる； ● スターターとバッテリーをつなぐケーブルが緩んでいるか腐食している。
出力が高すぎ	<ul style="list-style-type: none"> ● ジェネレーターがアースに正しく接続されていません； ● 電圧アジャスターが壊れており、交換が必要です。
リップルが大きすぎ	イオードが壊れている。
出力なし	<ul style="list-style-type: none"> ● ケーブルが緩んでいます； ● 電力管理システムを搭載した一部の車両は、バッテリーの負荷容量が不十分のために充電のパスを提供できません； ● ジェネレーターまたは電圧調整器が壊れており、交換が必要です。

 **注意**

電流を測定するには、電流クランプを接続します。メインメニューの【設定】ボタンをタップして、アプリケーションに入り、電流クランプトグルをスワイプして【ON】にします。

5 車外テスト

車外テストは、車両に接続されていないバッテリーの状態をテストするために使用されます。この機能は、バッテリーの状態のみを確認することを目的としています。互換性のあるバッテリーの種類と規格は次のとおりです：

タイプ: FLOODED, AGM, AGM SPIRAL, EFB, and GEL

基準: CCA, SAE, CA, EN, EN2, IEC, DIN, JIS, MCA, BCI, and GB

5.1 テスト手順

1. テスタークランプをバッテリー端子に接続します。
2. 該当のバッテリー種類、定格基準、および CCA 値を選択、【テスト開始】をタップしてテストを開始します。



図 5-1 車外テストのサンプル画面

3. テスト結果は数秒で表示されます。



図 5-2 車外テスト結果のサンプル画面

5.2 テスト結果

アイコンはステータスを示すために色分けされています。

結果	説明
良いバッテリー	バッテリーは必要な基準を満たしています。
良い&リチャージ	バッテリーは良好ですが、充電量が少なくなっています。バッテリーを完全に充電してください。低充電の原因を確認してください。
充電と再テスト	バッテリーの状態を判断するには、充電が必要です。
バッテリーを交換	バッテリーは業界で認められた基準を満たしていません。
悪いセル	バッテリーは業界で認められた基準を満たしていません。

6 バッテリー交換

バッテリー交換機能は、バッテリーの交換を段階的にガイドします。バッテリー交換プロセスには、バッテリータイプのアドバイス、準備、バッテリー交換手順、新しいバッテリーテスト、およびバッテリー登録を含めます。

➤ **バッテリーを交換するには：**

1. 操作前に各画面の下にある[ヘルプ]ボタンをタップして、すべてのヘルプ情報を深く読み、画面の指示に従ってバッテリーの交換を完了します。

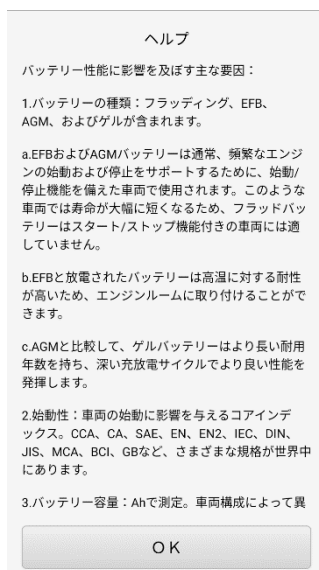


図 6-1 ヘルプ画面のサンプル

2. 車両のバッテリーを取り外すとき、または切断するときに車両のオンボードデータを保存するため、メモリーセーバー（オプションのアクセサリ）を使用して予備用のバッテリーを車両に接続することをお勧めします。



図 6-2 新しいバッテリーテスト結果のサンプル画面

- 新しいバッテリーのテストが完了したら、【次へ】をタップして、【バッテリーリセット】セクションの自動登録に自動的に進みます。

7 バッテリーリセット

バッテリーリセットにより、次の機能にアクセスできます：自動登録（バッテリー交換後）、BMS リセット、電気製品のリセット、特殊機能、バッテリー使用履歴。



図 7-1 バッテリーリセットメインメニューのサンプル画面

7.1 自動登録（バッテリー交換後）

自動登録は新しいバッテリーのインストールが成功した後によく使用されます。BMS リセットや電気製品のリセットを含む。

7.1.1 BMS リセット

BMS リセット機能を使用して、バッテリー交換後に新しいバッテリーを登録できます。BMS リセット機能は車両メーカーによって異なります。画面の指示に従って、必要の機能を実行してください。

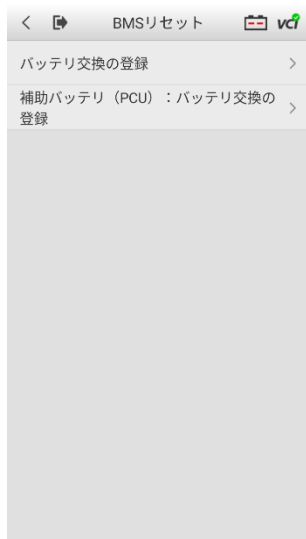


図 7-2 BMS リセットメニューのサンプル画面

必要なバッテリー交換登録を選択すると、環境、条件、影響、注意の情報が表示されます。【次へ】をクリックして登録を完了します。

7.1.2 電化製品のリセット

バッテリー交換のために車両の電源を遮断、メモリーセーバーを使用されていない場合、一部の車両コンポーネントの位置設定が失われます。位置設定は再学習する必要があります。電化製品リセットの機能と関連操作は、車両のメーカーによって異なります。画面の指示に従って、必要な機能を実行してください。



図 7-3 電化製品のリセットサンプル画面

7.2 特殊機能

特殊機能は車種によって異なります。バッテリーリセット以外の機能は、特殊機能に分類されます。画面の指示に従って、必要の機能を実行してください。

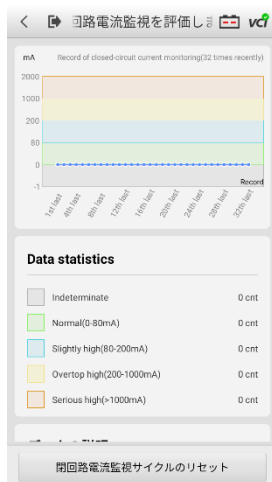


図 7-4 閉回路電流監視サイクルリセットのサンプル画面

7.3 バッテリーの使用履歴 (BMW 車両のみ)

バッテリー使用履歴機能は、以下の3つのテストを表示します：

1. **過去5日間のSOC (充電状態)：** SOC ステータスを監視し、バッテリーの状態を診断します。
2. **SOC 期間の割合：** ドライバーのバッテリー使用習慣を表示します。
3. **現在の推定走行距離の比較 (バッテリー交換)：** 過去車両走行距離の記録に基づいて、現在のバッテリー寿命を確認します。

3つのテスト画面は、次の3つのセクションで構成されています：

1. **メインビュー：** データを波形または棒グラフで表示します。
2. **データの説明：** テスト結果を簡単説明します。
3. **提案：** 存在の問題に関する提案を提供します。

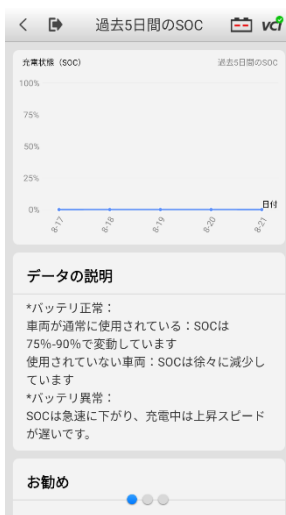


図 7-5 SOC 過去5日間のサンプル画面

8 診断






診断機能により、すべてのシステム障害を検出、エンジン、トランスミッション、ABS など多数の車両制御システムのライブシステムデータへのアクセスできます。

診断タイプ（自動選択または手動選択）を選択した後、【診断】メニューにアクセスするとき2つのオプションが選択できます：

1. **オートスキャン** — 車両すべてのシステムのスキャンを開始します。
2. **コントロールユニット** — 車両のすべての使用可能なコントロールユニット選択メニューが表示します。

セクション作成したら、テスターが VCI を介して車両との通信を確立、対応するファンクションメニューまたは選択メニューが表示されます。

表 8-1 トップツールバーボタン

ボタン	説明
	前のページに戻る
	ホーム画面に戻ります
	データの記録を開始および停止します
	VCI 接続を表示する
	適切なチェックボックスを選択して、ライブデータパラメータを選択します。（ライブデータ画面で利用可能）

8.1 オートスキャン

自動スキャン機能は、車両のすべての ECU を包括的にスキャンして、故障を検出し、DTC を取得します。



図 8-1 オートスキャンのサンプル画面

1. 進捗率一テストの進捗状況を示す
2. メインセクション
3. 機能ボタン

メインセクション

- 1 — シーケンス番号を表示します
- 2 — スキャンしたシステムを表示します
- 3 — テスト結果を説明する診断指標を表示します。

指標は次のように定義されています：

Fault | #: **Fault** 故障コードの検出を示します；**#** 検出されたコードの数を示します。

Pass | no fault: システムのスキャンプロセスは完了し、故障が検出されなかったことを示します。

- 4 — 特定のシステムアイテムをさらに診断またはテストを実行するには、そのアイテムの右側にある矢印ボタンをタップして、ファンクションメニュー画面を表示します。

機能ボタン

次の表に自動スキャン機能ボタンの操作を簡単に説明します。

表 8-2 オートスキャン機能ボタン

名称	説明
保存	スキャン結果を PDF ドキュメントとして保存します。
レポート	診断データをレポート形式で表示します。
クイック 消去	故障コードを消去します。この機能を選択すると、データが失われる可能性がある警告メッセージが表示されます。
OK	テスト結果を確認します。メインセクションの項目をタップして該当のシステムを選択した後、システム診断を続行します。
一時停止	スキャンを一時停止します。 【続行】 をタップして再開します。
ESC	前の画面に戻るか、オートスキャンを終了します。

8.2 コントロールユニット

テスト必要の制御システムを直接選択します。メニューの手順に従い、適切な選択を行います。アプリケーションは、ユーザー様の選択に基づいて、適切な診断ファンクションメニューを導きます。



図 8-2 ファンクションメニューのサンプル画面

ファンクションメニューの選択肢は車両によって異なる場合があります。ファンクションメニューには次のものが含まれます：

- ECU 情報
- 故障コード読取
- コードの消去
- ライブデータ
- フリーズフレーム

➤ **診断機能を実行するには：**

1. テスト車両との通信を確立します。
2. メニューオプションから選択して車両を特定します。
3. **【診断】**セクションを選択します。
4. 動スキャンまたはコントロールユニットのメニュー選択によってテストするシステムを探します。
5. **【ファンクション】**メニューから診断機能を選択します。

8.2.1 ECU 情報

この機能は、テストされたコントロールユニットの特定の情報を取得して表示します。モデル年式や ECU 部品ナンバーなどを含めます。

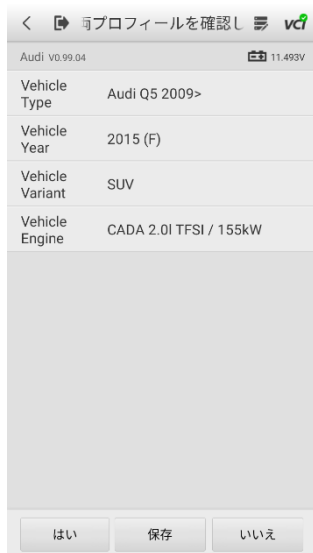


図 8-3 ECU 情報サンプル画面

8.2.2 コードの読取

この機能は、車両の制御システムから DTC コードを取得して表示します。

【コードの読取】画面は、テストする車両モデルごとに異なります。表示するフリーズフレームデータの可用性も、車両によって異なります。



図 8-4 コード読取のサンプル画面

メインセクション

1. コードセクション — 車両から取得した故障コードを表示します。
2. 説明セクション — 取得した故障コードの詳細を説明します。
3. ステータスセクション — 取得したコードのステータスを示します。
4. スノーブレークアイコン — フリーズフレームデータを表示できることを示します。このアイコンを選択すると、データの画面が表示されます。この画面と機能は、【コードの読み取り】画面と同じです。

8.2.3 故障コードの消去

車両から取得したコードを読み取り、修理が完了したら、この機能を使用して故障コードを消去します。この機能を実行する前に、エンジンがオフ

の状態です。車両のイグニッションキーがオン（RUN）位置にあることを確認してください。

➤ **コードを消去するには：**

1. **【ファンクション】**メニューにある**【コード消去】**をタップします。
2. DTC/またはフリーズフレームデータが削除されると警告するメッセージが表示されます：
 - b) **【YES】**をタップして続行したら、操作が成功すると確認の画面が表示されます。
 - c) **【NO】**をタップして終了します。
3. 確認画面で**ESC**をタップして、**コード消去**を終了します。
4. **【ファンクション】**メニューに戻り、**【コードの読み取り】**をタップして確認します。

9 マルチメーター

マルチメーター（別売）は、多機能で、マルチレンジの測定器です。マルチメーターを BT608 に接続して、ホーム画面からアプリケーションをアクセスして、AC / DC 電圧、AC / DC 電流、抵抗の測定、ダイオード、および接続テストを実行します。テストの結果は数字またはグラフで表示されます。

9.1 安全情報

感電による怪我のリスクを減らして、機器の損傷を防ぐために、以下の手順に従ってください。

- マルチメーターは、このマニュアルで指定されているとおりに使用してください。
- コネクタまたはコネクタとアースの接続に定格電圧を超える電圧をかけないでください。
- 測定時に最大範囲を超える値を入力しないでください。このマルチメーターの最大範囲は 200V までです。
- 人身事故や死亡を防ぐため、何らかの形で損傷していると思われる場合はマルチメーターを使用せずに、異常な動作が懸念される場合も直ちに使用を中止してください。
- 怪我や死亡を防ぐため、電気測定を行うときは絶対に接地しないでください。乾いたゴム製の絶縁マットを使用して、露出した/接地されたすべての金属を覆うことにより、地面から身を守ります。手袋を含むすべての衣類が乾いていることを確認してください。ツールを使用するときは、ラバーマットの上に立って作業してください。
- 製品に付属のテストリードまたはプローブ、または互換性のある端子を使用してください。使用前に、テストリードまたはプローブに損傷がないかを検査してください。
- プローブを使用するときは、プローブの指ガードの後ろに指を置いてください。
- 付属した交換用ヒューズまたは指定した交換部品のみ使用してください。
- 電気および電子機器は常に通電（ライブ）されていることと考えてください。デバイスの電源がオフになっていると思い込まないでください。
- 電気の接続を行うとき、共通のテストリードを接続してからライブテストリードを接続してください。切断するときは、ライブテストリードを

切ってから共通のテストリードを切断断してください。

- 電流を測定するとき、マルチメーターを回路に接続する前に回路の電源を切ってください。マルチメーターを回路と直列に配置することを忘れないでください。
- 電流測定が終了後、テストリードを取り外す前または切断されたワイヤまたはデバイスを再接続する前に、回路の電源をオフにしてください。
- 抵抗を測定するとき、入力端子に電圧を加えないでください。
- 感電を防止のため、接続する前にコンポーネントの電源をオフにしてください。
- 損傷を防止のため、マルチメーターを常に適切な環境で使用および保管してください。
- 濡れた状態や湿気的环境、または爆発性ガスや蒸気の周囲では使用しないでください。
- マルチメーター、コネクタ、またはアクセサリを改ざんしたり、分解したりしないでください。内部の損傷はパフォーマンスに影響します
- マルチメーターのメンテナンスとクリーニングをする前に、ツールが電源、車両、またはコンピューターに接続されていないことを確認してください。
- マルチメーターをクリーニングするときは、中性洗剤で湿らせた柔らかい布を使用してください。マルチメーターのケースに水が入れないようにしてください。

9.2 はじめ

マルチメーターアプリケーションを起動する前に、**マルチメーターデバイス** (DM100、デジタルマルチメーター100) がマルチメーターケーブルを介してテスターに接続されていることを確認してください (下の図を参照)。**【もうありません】** をタップして図を非表示にします。

テスターが正常に接続されると、デバイスはピープの音を鳴らします。

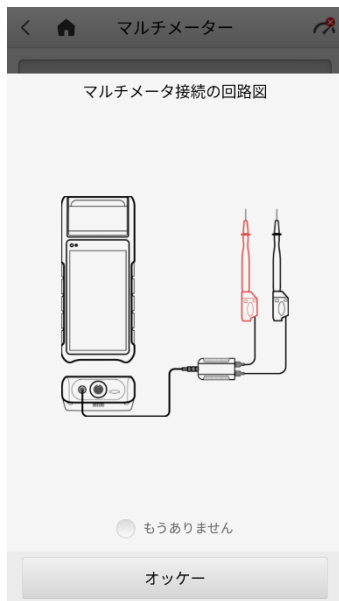


図 9-1 マルチメーター接続回路図サンプル

9.3 画面のレイアウトと操作

メインメニューのマルチメーターアイコンをタップして、マルチメーターページを表示します。

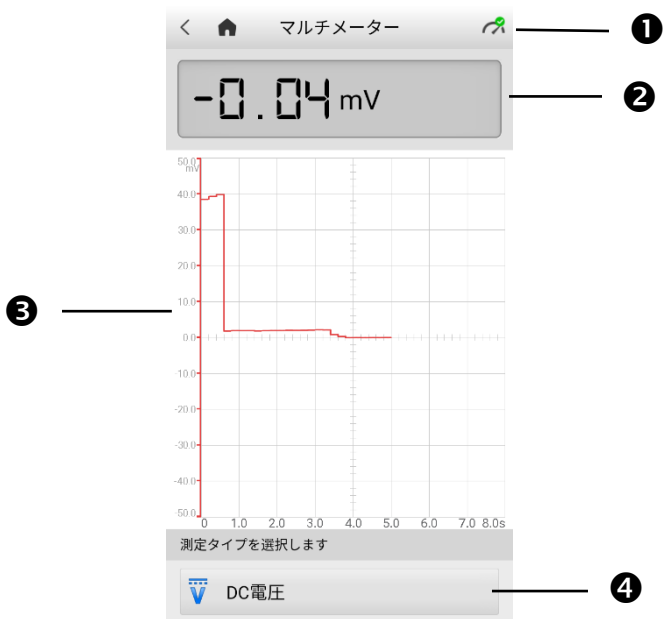


図 9-2 マルチメーターテストのサンプル画面

1. マルチメーターアイコン
2. デジタルディスプレイ
3. メインビューセクション
4. 測定タイプの選択

9.3.1 マルチメーターアイコン

マルチメーターステータスアイコンは、テスターとの接続ステータスを示します。緑のチェックマークは、テスターとマルチメーターが接続されていることを示します。赤い「X」は、デバイスとテスターが接続されていないことを示します。

9.3.2 デジタルディスプレイ

このセクションには、測定の結果を表示されます。








9.3.3 メインビューセクション

メインビューパーツには座標グリッドがあり、X軸は持続時間を表し、Y軸は振幅レベルを表します。


9.3.4 測定タイプの選択

このマルチメーターは、AC 電圧、DC 電圧、抵抗、AC 電気、DC 電気、ダイオード、および接続性を測定するために使用できます。

測定タイプは次のとおりです：

アイコン	名称	説明
	AC 電圧	電気回路の電圧を測定します。
	DC 電圧	
	抵抗	電気回路またはコンポーネントの抵抗を測定します。
	AC 電流	オプションの電流クランプを使用して電流アンペア数を測定します。
	DC 電流	
	ダイオード	電気回路のダイオードテストをします。
	接続性	低インピーダンスが電気回路に 2 点から出るかどうかを確認します。インピーダンスが 100 オーム未満の場合、回路は【閉じる】状態になり、逆に、回路は【開いている状態】になります。

ⓘ 注意

1. AC / DC 電流はクランプで測定、AC / DC 電圧、ダイオード、接続性はプローブで測定します。
2. **抵抗**測定タイプを選択すると  セルフキャリブレーションマークが表示され、精度を向上させるためにマルチメーターはゼロ点にリセットされます。

3. AC/DC 電流を測定する際に、異なる範囲の測定は違うクランプで操作します（図 9-3 を参照）。【もうありません】をタップして図を非表示します。



図 9-3 電流クランプ回路図のサンプル

10 アップデート

Wi-Fi 接続でこの機能を使用すると、OS、アプリケーション、バッテリーテスト、バッテリー登録、および車両メーカー向けのソフトウェアを含む BT608 のソフトウェアを更新することができます。更新があれば、更新通知が表示されます。ツールを安定した Wi-Fi ネットワークに接続して、画面に従ってソフトウェアを更新します。

利用可能な車両ソフトウェアを利用して、車両モデルのカバレッジを確認します。以前インストールしたソフトウェアを更新したら、診断およびサービス機能の改善に関する情報を表示する可能性がございます。

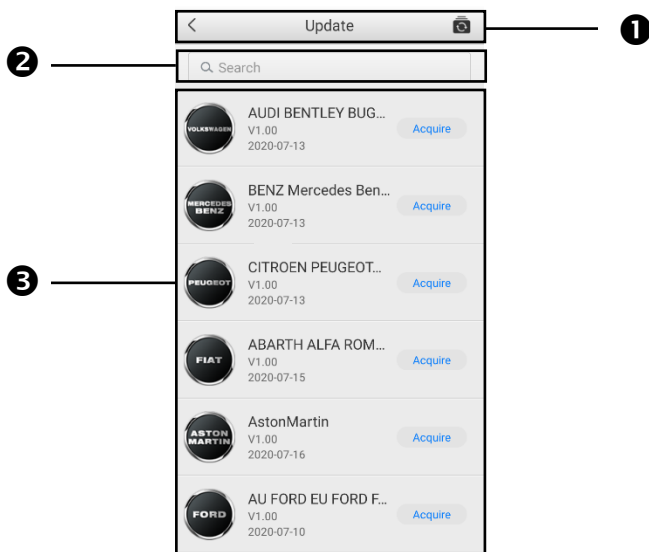


図 10-1 アップデートのサンプル画面

1. ツールバー
2. 検索バー
3. メインセクション

上部ツールバー

ボタン	説明
	前のページに戻る。
	タップしてすべてのソフトウェアを取得します。
	ホーム画面に戻る。

検索バー

車両メーカーによる更新を検索します。

メインセクション

- 左の列 — 車種のロゴを表示します。
- 真中 — ソフトウェアの最新バージョン、アップデートパッケージのサイズとリリース日の情報を表示します。
- 右の列 — ボタンは操作によって異なります。
 - a) **【 Acquire】** タップしてソフトウェアのダウンロードとインストールを実行します。
 - b) ボタンをタップして、更新を一時停止します。
 - c) **【 Paused】** をタップして更新を続行します。

11 設定

【設定】メニューにアクセスして、デフォルト設定を調整し、MaxiBASシステムに関する情報を表示します。MaxiBASの設定は、次のオプションを使用できます。

オプション	説明
VCI マネージャー	VCI マネージャーは、Bluetooth 経由で MaxiBASBT608 と VCI デバイスを接続します。このオプションを使用すると、テスターと VCI デバイスのペアリング、通信ステータスの確認、VCI ファームウェアのアップグレードができます。
BAS マネージャー	ファームウェアバージョンの更新と確認ができます。
システム設定	Wi-Fi 接続、言語、日付と時刻、表示と音声、スリープモード、キャッシュクリア、および初期化の設定と調整ができます。
インフォメーション	BT608 に関する情報（シリアル番号、パスワード、システムバージョン、ハードウェアバージョン、APP バージョン、BAS バージョン、BAS ファームウェアバージョン、VCI ファームウェア、VCI ソフトウェア、容量など）を表示します。
単位	測定の単位を選択します。メートルとインペリアルの中から選択します。
電流クランプ	電流クランプトグルをスワイプして、電流測定を有効にします。

12 データマネージャー

データマネージャーアプリケーションを使用、ファイルを保存、印刷、確認、及びワークショップ情報と顧客情報の管理、テスト車両の履歴の保存、6つの機能が利用できます。

12.1 テスト履歴

このオプションは、バッテリーテストと故障診断を含む車両のテスト履歴を保存します。診断履歴から、以前テストした車両へ直接アクセスでき、車両の選択をしなくても、診断を直接再開することができます。




図 12-1 診断テスト履歴のサンプル画面

12.2 ワークショップ情報

ワークショップ情報フォームで、ショップ名、住所、電話番号、コメントなどの詳細情報の入力、編集、保存できます。ワークショップ情報は、車両診断レポートおよびその他の関連するテストファイルを印刷する場合、印刷されたレポートのヘッダーとして表示されます。

12.3 画像

画像オプションは、キャプチャされたスクリーンショットを含む JPG データベースです。画面右上の  アイコンをタップすると、選択した画像を削除できます。

12.4 PDF

PDF は、保存された PDF データファイルの保存と閲覧ができます。PDF データベースを開いて、ファイルを選択したら保存されている PDF を閲覧できます。画面右上の「…」アイコンをタップして、ファイルの共有または PC 印刷ができます。

12.5 アプリのアンインストール

このオプションで、診断システムにインストールしたファームウェアアプリケーションを管理できます。管理画面が開き、利用可能なすべての車両診断アプリケーションを確認できます。削除したい車両ファームウェアを選択し、画面下の【削除】ボタンをタップして、システムデータベースからファームウェアを削除します。

12.6 データロギング

データロギングオプションで、サポートプラットフォームを起動して、診断履歴を確認できます。データロギングオプションは、すべてのフィードバック（送信済）記録を表示します。Not Feedback（送信されていないが保存されている）または履歴（最新の 20 個のテスト履歴まで）。データロギング機能を使用して、テスト履歴の編集および送信ができます。AUTEL のサポート担当者は、サポートプラットフォームを通じて、提出したレポートを受け取り、処理します。

① 注意

感熱紙

内蔵プリンターには、2 ロールの感熱紙（幅 2.3 インチ、直径 0.98 インチ）を付属しています。交換用ローンは、文房具店から購入できます。

➤ ロール紙を交換するには：

1. プリンターのカバーを軽く持ち上げて開きます。
 2. 使用済みのロールを取り除きます。
 3. 新しいロール紙を入れます。
 4. プリンターの前にあるカッターを通過して用紙を引き出して、その際にロール紙がびんと張ったままで、広げてないことを確認してください。
 5. カバーを下げてスナップで閉じます。きれいに引き裂くには、鋸歯状の端に沿って紙を引っ張ります。
-

13 リモートデスクトップ

リモートデスクトップアプリケーションは、TeamViewer Quick Support プログラムを起動します。このプログラムはシンプルで高速、かつ安全なリモートコントロールインターフェースです。AUTEL のサポートセンター、同僚、または友人が TeamViewer ソフトウェアを利用して PC で MaxiBAS テスターを制御できるので、リモートサポートを受けることができます。

TeamViewer の接続を電話で考える場合、TeamViewer ID は、すべての TeamViewer クライアントへアクセスできる電話番号になります。TeamViewer を実行するコンピューターとモバイルデバイスは、唯一のグローバル ID によって識別されます。リモートデスクトップアプリケーションを初めて起動する際に、この ID はテスターのハードウェアに基づいて自動的に生成されます。ユーザーは ID を変更することができません。

リモートデスクトップアプリケーションを起動する前に、テスターはインターネットに接続されていることを確認してください。これにより、BT608 は遠隔でリモートサポートを受けることができます。



図 13-1 TeamViewer インターフェースのサンプル画面

➤ **パートナーからリモートサポートを受けるため:**

1. BT608 の電源を入れます。
2. MaxiBAS メインメニューにあるリモートデスクトップアプリケーションをタップします。TeamViewer 画面が表示され、使用中の ID が生成、表示されます。
3. パートナーは、TeamViewer プログラム（フルバージョン）をオンライン（<http://www.teamviewer.com>）でダウンロードして、コンピュータにインストールする必要があります。BT608 をリモートで制御するため、パートナーのコンピューターも同時にソフトウェアを起動します。
4. パートナーに**使用中の ID**を提供し、リモートのリクエストを送信してもらうようにします。
5. デバイスのリモートコントロールを許可するように求めるプロンプトが表示されます。
6. . **【許可する】**または**【拒否する】**をタップします。.

他の情報については、TeamViewer に関連するドキュメントを参照してください。

14 ツール登録

ツールのソフトウェアを更新するには、ツールを登録する必要があります。最新のファームウェアと車両ソフトウェアのインストールは、BT608 の正常動作に不可欠です。使用前にツールを登録し、ソフトウェアをダウンロードしてください。ツールまたはモバイルデバイスまたはコンピューターでのインターネット経由で直接登録します。

14.1 テスターによる登録

1. まず、デバイスが Wi-Fi と接続されていることを確認します。
2. デバイスは、ユーザーが登録したかどうかを自動的に検出します。登録されていない場合は、ツールの登録を求めるダイアログボックスが表示されます。
3. **【OK】** をタップして、サインイン画面が表示します。
4. アクセスできるメールアドレスを使用して AUTEL ID を作成します。
5. メールアドレスとパスワードを入力し、**【Verification code】** をタップします。メールで確認コードを確認してください。コードを入力し、**【Sign up】** をタップします。
6. シリアルナンバーとパスワードは自動的に入力され、**【REGISTER】** をタップします。

14.2 PC またはモバイルのインターネットブラウザで登録

1. <http://pro.autel.com> へアクセス
2. すでに Autel アカウントをお持ちの場合は、アカウント ID とパスワードを使用してサインインします。新規登録の場合は、画面の **【Create Autel ID】** ボタンをクリックして ID を作成します。
3. オンラインシステムは、登録したメールアドレスに **【Verification code】** を送信します。コードとその他の必須項目に入力、**Autel 利用規約** を読み、**【同意する】** をクリックして、**【Autel ID 作成】** をクリックして続行したら、製品登録画面が表示されます。
4. **【設定】** > **【バージョン情報】** 画面にてデバイスのシリアル番号とパスワードを確認します。

5. 製品モデルを選択、【製品登録】画面で製品のシリアルナンバーとパスワードを入力したら、【送信】をクリックして登録が完了します。

15 メンテナンスとサービス

テスターと VCI ユニットが最適なレベルで動作することを確保するため、製品メンテナンス手順を読み、それに従ってください。

15.1 メンテナンス方法

以下は、デバイスのメンテナンス方法と注意事項を示しています。

- 柔らかい布とアルコールまたは中性洗剤を使用して、タブレットのタッチスクリーンをクリーンします。
- テスターに研磨剤、洗剤、自動車用化学薬品を使用しないでください。
- デバイスを乾燥した状態に保ち、通常の動作温度内に保ちます。
- テスターを使用する前に手を乾かしてください。タッチスクリーンが湿っていたり、濡れた手でタッチスクリーンをタップしたりすると、テスターのタッチスクリーンが機能しないことがあります。
- 湿気の多い場所、ほこりの多い場所、汚れた場所にデバイスを保管しないでください。
- 使用の前後に、ハウジング、配線、コネクタに汚れや損傷がないか確認してください。
- 毎日の終わりに、湿らせた布でデバイスのハウジング、配線、およびコネクタをきれいに拭きます。
- テスターや VCI ユニットの分解しないでください。
- 落としたり、デバイスに深刻な影響を与えたりしないでください。
- 認可されたバッテリー充電器とアクセサリのみを使用してください。許可されていないバッテリー充電器とアクセサリの使用によって引き起こされた誤動作または損傷は、限定製品保証を無効にします。
- バッテリー充電器が導電性物体に接触しないようにしてください。
- 信号の干渉を防ぐために、電子レンジ、コードレス電話、一部の医療機器または科学機器のそばでタブレットを使用しないでください。

15.2 トラブルシューティングチェックリスト

A. テスターが正常に動作しない場合：

- テスターがオンラインで登録されていることを確認してください。
- システムソフトウェアと診断アプリケーションソフトウェアが適切に更新されていることを確認してください。
- テスターがインターネットに接続されていることを確認してください。
- すべてのケーブル、接続、およびインジケータをチェックして、信号が受信されているかどうかを確認します。

B. バッテリーの寿命が通常より短い場合：

- これは、信号強度の低いエリアにいるときに発生する可能性があります。使用していない場合はデバイスの電源を切ります。

C. テスターの電源をオンにできない場合：

- テスターが電源に接続されているか、バッテリーが充電されていることを確認してください。

D. テスターを充電できない場合：

- 充電器がエラーしている可能性があります。最寄りの販売店にお問い合わせください。
- デバイスを過度の高温/低温で使用しようとしている可能性があります。涼しい場所や暖かい場所でデバイスを充電してください。
- デバイスが充電器に正しく接続されていない可能性があります。コネクタを確認してください。

⦿ 注意

問題が解決しない場合は、AUTEL のテクニカルサポート担当者または最寄りの販売代理店にお問い合わせください。

15.3 バッテリーの使用について

テスターは、内蔵のリチウムイオンポリマー電池で駆動します。これは、他の形式のバッテリーテクノロジーとは異なり、これらのテクノロジーに固有の「バッテリーメモリ効果」により、タブレットの自律性を低下させることなく、充電を維持しながらバッテリーを充電できることを意味します。

⚠ 危険

1. 内蔵のリチウムイオンポリマーバッテリーは、工場でのみ交換可能です。バッテリーパックを誤って交換したり、改ざんしたりすると、爆発の原因になることがあります。
2. 破損した充電器は使用しないでください。
 - 押しつぶしたり、曲げたり、変形したり、穴を開けたり、細断したりしないでください。
 - 変更したり、再製造したり、バッテリーに異物を挿入したり、火災、爆発、その他の危険にさらしたりしないでください。
 - 付属の充電器とUSBケーブルのみを使用してください。AUTEL認定の充電器やUSBケーブルを使用しないと、デバイスの誤動作やエラーの原因となる場合があります。
 - 認定されていないバッテリーまたは充電器を使用すると、火災、爆発、漏れ、またはその他の危険が生じる可能性があります。
 - テスターを落とさないでください。タテスターを硬い表面に落とした場合、ユーザーが損傷を疑う場合は、サポートに連絡してください。
 - バッテリーの充電時間は、バッテリーの残量によって異なります。
 - バッテリーの寿命は、時間の経過とともに必然的に短くなります。
 - 過充電はバッテリーの寿命を短くする可能性があるため、完全に充電されたらタブレットを充電器から取り外します。充電が完了したら、充電器を取り外します。
 - 特に夏や冬に車の中や暑い場所や寒い場所にテスターを放置すると、バッテリーの容量と寿命が短くなる場合があります。バッテリーは常に常温に保ってください。

15.4 サービス手順

このセクションでは、技術サポート、修理サービス、および交換部品またはオプション部品の申請に関する情報を紹介します。

15.4.1 テクニカルサポート

製品の操作に関して質問や問題がある場合は、お問い合わせください。

AUTEL 北米

- **Phone:** 1-855-AUTEL-US (288-3587) (855-288-3587) Monday-Friday 9am-6pm EST
- **Website:** www.autel.com
- **Email:** ussupport@autel.com
- **Address:** 175 Central Avenue, Suite 200, Farmingdale, New York, USA 11735

AUTEL ヨーロッパ

- **Phone:** 0049 (0) 6103-2000520 Monday-Friday, 9:00am-6:00pm Berlin Time
- **Website:** www.autel.eu
- **Email:** sales.eu@autel.com, support.eu@autel.com
- **Address:** AdalperostraÙe 82, 85737 Ismaning, Germany

AUTEL 中国本部

- **Phone:** 0086-755-2267-2493 Monday-Friday, 9:00AM-6:00PM Beijing Time
- **Website:** www.autel.com
- **Email:** support@autel.com
- **Address:** 7th, 8th and 10th floor, Building B1, Zhiyuan, Xueyuan Road, Xili, Nanshan, Shenzhen, 518055, China.

AUTEL ラテンアメリカ

- **Website:** www.autel.com
- **Email:** sales.latin@autel.com, latsupport02@autel.com
- **Address:** Avenida Americas 1905, 6B, Colonia Aldrete, Guadalajara, Jalisco, Mexico

AUTEL APAC

- **Phone:** +045 5948465
- **Website:** www.autel.com/jp/

- **Email:** sales.jp@autel.com, support.jp@autel.com
- **Address:** 719, Nissou Building, 3-7-18, Shinyokohama, Kouhoku, Yokohama, Kanagawa, Japan 222-0033

AUTEL IMEA DMCC

- **Phone:** +971 585 002709
- **Web:** www.autel.com
- **Email:** sales.imea@autel.com, imea-support@autel.com
- **Address:** Office 1006-1010, Cluster C, Fortune Tower, Jumeirah Lakes Tower (JLT), Dubai, U. A. E

他のエリアでの技術支援については、地元の販売代理店にお問い合わせください。

15.4.2 リペアサービス

修理のためにデバイスを返却する必要がある場合、www.autel.comから修理サービスフォームをダウンロードし、フォームに記入してください。次の情報を含める必要があります:

- 連絡先
- 返送住所
- 電話
- 製品名
- 故障に関する説明
- 保証修理の購入証明
- 非保証修理の希望支払い方法

注意

非保証修理の場合、支払いは Visa、Master Card、または承認されたクレジット条件で行うことができます。

デバイスを最寄りの販売代理店または以下のアドレスに送付してください:

7th, 8th and 10th Floor, Building B1, Zhiyuan, Xueyuan Road, Xili, Nanshan, Shenzhen, 518055, China

16 コンプライアンス情報

FCC Compliance

FCC ID: WQ8BATSTB2022

WQ8BATSTBV200

このデバイスは、FCC規則の第 15 に準拠しています。操作は、次の2つの条件に従います：

- a) このデバイスは有害な干渉を引き起こさない可能性があります。
- b) このデバイスは、望ましくない操作を引き起こす可能性のある干渉を含め、受信した干渉を受け入れる必要があります。

警告

コンプライアンスの責任者によって明示的に承認されていない変更または修正を行うと、機器を操作するユーザーの権限が無効になる場合があります。

注意

この機器はテスト済みであり、FCC 規則のパート 15 に準拠したクラス B デジタルデバイスの制限に準拠していることが確認済みです。これらの制限は、住宅設備での有害な干渉に対する合理的な保護を提供するように設計されています。

この装置は使用を生成し、無線周波数エネルギーを放射することができ、インストールされていないと、指示に従って使用する場合、無線通信に有害な干渉を引き起こす可能性があります。ただし、特定のインストールで干渉が発生しない保証はありません。この装置が無線またはテレビの受信に有害な干渉を引き起こす場合、機器の電源を入れたりオンにしたりすることで判断できる場合、ユーザーは以下の1つ以上の措置によって干渉を修正するようお勧めします：

- 受信アンテナの向きを変えるか、再配置します。
- 機器と受信機の間隔を広げてください。
- 受信機が接続されているものとは別の回路のコンセントに機器を接続します。
- ディーラーまたは経験豊富なラジオ/テレビ技術者に相談してください。

SAR

このデバイスの放射出力は、FCC の無線周波数暴露制限を下回っていますが、デバイスは、通常の操作中に人との接触の可能性が最小限になるように使用する必要があります。

ワイヤレスデバイスの露出基準は、比吸収率（SAR）と呼ばれる測定単位を採用しています。FCCによって設定された SAR 制限は 1.6 W / Kg です。SAR のテストは、FCC によって受け入れられた標準動作位置を使用して行われ、デバイスは、テストされたすべての周波数帯域で最高の認証された電力レベルで送信します。

SAR は認定された最高の電力レベルで決定されますが、動作中のデバイスの実際の SAR レベルは最大値を大きく下回る場合があります。これは、ネットワークに到達するために必要な電力のみを使用するように、デバイスが複数の電力レベルで動作するように設計されているためです。FCC の無線周波数暴露の制限を超える可能性を回避するには、アンテナへの人の近接を最小限に抑える必要があります。

FCC 放射線被ばく声明

この装置は、制御されていない環境に対して定められた FCC 放射線被曝制限に準拠しています。この装置は、ラジエーターと身体の上に 20cm 以上の距離を置いて設置および操作する必要があります。

CE コンプライアンス

この製品は、次の指令の必須要件に準拠していることが宣言されており、それに応じて CE マークが付けられています。

EMC ETSI EN 301 489-1 V2.2.3 (2019-11)

ETSI EN 301 489-17 V3.1.1 (2017-02)

EN 55032: 2015

EN 55035: 2017

Safety EN 62368-1: 2014+A11: 2017

Health EN 50566: 2017

EN 62479: 2010

EN 62209-2: 2010

Radio ETSI EN 300 328 V2.2.2 (2019-07)

ETSI EN 300 440 V2.2.1 (2018-07)

ETSI EN 301 893 V2.1.1 (2017-05)



17 保証

12 か月限定保証

Autel Intelligent Technology Corp.、Ltd.（当社）は、この MaxiSys 診断デバイスの最初の小売購入者に対し、通常の使用および通常の条件下で、この製品またはその一部が、製品のエラーにつながる材料または仕上がり欠陥があることが証明された場合保証します。購入日から 12 か月以内に、そのような欠陥は、当社の選択により、修理または購入証明と交換（新しい部品または再構築部品で）されます。

当社は、デバイスの使用、誤用、または取り付けに起因する偶発的または間接的な損害について責任を負いません。一部の地域では、保証期間の制限を許可していないため、上記の制限が適用されない場合があります。

この保証は以下には適用されません：

- 1) 異常な使用または状態、事故、誤操作、放置、無許可の変更、誤用、不適切な設置または修理または不適切な保管を受けた製品；
- 2) 機械的シリアル番号または電子シリアル番号が削除、変更、または破損された製品；
- 3) 過度の温度または極端な環境条件への暴露による損傷；
- 4) 当社が承認または承認していないアクセサリまたはその他の製品への接続、または使用から生じる損傷；
- 5) 外観、化粧品、装飾品、または構造部品（フレーム部品や非動作部品など）の欠陥；
- 6) 火災、汚れ、砂、バッテリーの漏出、切れたヒューズ、盗難、または電源の不適切な使用などの外部原因により損傷した製品。

! 重要

製品のすべての内容は、修理の過程で削除される場合があります。保証サービスのために製品を提供する前に、製品の内容のバックアップコピーを作成する必要があります。
